Sizka Super-microDX
取扱説明書

1. はじめに

このたびは、弊社のSizkaシリーズSuper-microDXをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、コンパクトなボディに必要最小限のPC互換機能を詰め込んだパーソナルコンピュータです。
本紙は、PC本体のハードウェアの取り扱いや活用方法など、基本的な事柄を説明しています。
本紙をご覧になり、本PCを正しくお使いいただけますよう、お願いいたします。

2. 製品構成

- ☐ PC本体
- ☐ USBメモリ
- ☐ ACアダプタ（5V/2A）
- ☐ 取扱説明書/保証書

3. 注意事項

・付属ACアダプタを必ず使用し、接続間違いにご注意ください。
・USB等の周辺機器を接続する場合、電源容量にご注意ください。
・本体ケースを開けたり、内部の基板を分解しないでください。
・内部の基板や部品を素手で触れないようにしてください。
・コネクタには所定のケーブル以外は接続しないでください。
・ケースの隙間/放熱口等に金属質の棒/針片/リード等を差し込んだり、落としたりしないでください。
※ACアダプタは、5V品以外は絶対に接続しないでください。

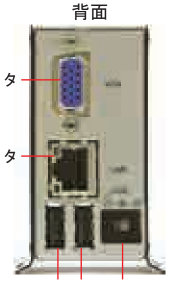
株式会社ピノー
〒141-0031 東京都品川区西五反田8-7-11
アクシス五反田ビル7F（2013年8月現在）
P/N: SCA2013082901

4. 各部の名称

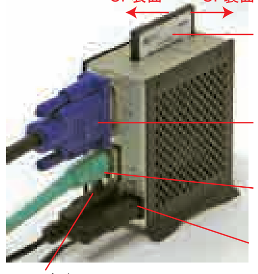
前面



背面



5. 接続について

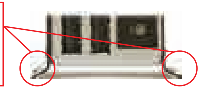


6. 必ずお読みください

警告および注意事項

・本製品を使用する場合は、必ず本紙や周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
・水などの液体が本体や電源などにこぼれたり、本体の中に入ってしまった場合は、すぐに電源ボタンを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。ショートしたりして感電、故障、火災などの原因となります。
・電源は必ずAC100Vのコンセントに接続して使用してください。AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しないでください。
・電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。ショート、発熱の原因となり火災、感電、故障の恐れがあります。
・本製品に触れる前には、身体の静電気を取り除くようにしてください。
・衝撃や振動が発生する不安定な場所、高温、多湿、直射日光のあたる場所での使用や保管、火気の近くの設置は火災、故障の原因となることがあります。
・本体、ACアダプタなどの装置をご自分で修理、分解、改造は絶対にしないでください。保証期間内でも有償修理となります。
・本製品を使用中にデータが消失、破損した場合でもデータの保証は一切いたしかねます。
・本製品に添付されているOS、ドライバ、ソフトウェアの動作に関して、サポートおよび保証は行なっておりません。
他社製およびフリーで提供されているOS、ドライバ、ソフトウェアに関してもサポートおよび保証は行なっておりません。
・本製品を以下の環境に置かないようにしてください。
静電気が発生する、ほこりが多い、温度・湿度の許容範囲を外れる、結露する、直射日光が当たる、火気周辺、漏電・漏水の危険がある、強い磁気・電波が発生する、振動、傾斜・段差などの不安定な場所
・本製品は精密機器ですので、落下、衝撃などを加えたり、上に重いものを置かないようにしてください。

※）製品の下部足部分によって、机等の設置場所に対して傷をつける可能性があります。ゴムシート等を利用して、十分に注意してください。



7. 起動と終了

①電源を入れる
付属のACアダプタを本体背面の電源コネクタに接続してください。その後、本体前面の電源ボタンを押して電源を入れます。
②電源を切る
本体前面の電源ボタンを押して電源を切ります。
本製品を使用しない場合は、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。

8. BIOSセットアップ

①操作
電源を入れて、起動時にUSBキーボードの"DEL"キーを押して、BIOSの設定を変更する設定画面に入ることが可能です。

←、→、↑、↓	項目の移動
Enter	メニューの実行
ESC	前のメニューに戻る
0〜9	数値入力

※BIOSセットアップを変更した場合、変更内容によっては起動ができない、操作できないことがあります。
※「SB LAN」を「Disabled」（無効）にした場合、CPU内部に登録されているMACアドレスが消去され、LAN機能が使用できなくなりますので注意してください。

②デフォルト設定
本製品は、カスタムデフォルト設定で出荷しています。
初期デフォルト値とカスタム設定の違いは以下の通りです。
「Load Optimal」「Load Custom」を実行すると、それぞれのデフォルト値が読み込まれます。

項目	Optimal（初期）	Custom（カスタム）
Standard IDE Compatible	Disabled	Enabled
Plug & Play O/S	No	Yes
OnBoard Virtual Flash FDD	Disabled	Internal
Boot	—	1st［SCSI：D8000］
SB Serial Port1/Port2	3F8/2F8	Disabled

※CPU内蔵Flashは"SCSI"として認識されます

9. USBメモリ

付属のＵＳＢメモリには以下の内容が収録されています。

①FreeDOS用起動ファイル
-Autoexec.bat、Command.com、Fdconfig.sys
-Freedos.bss、Kernel.sys

②X-Linux起動用ファイル

-Bzimage	･･･Linuxカーネルイメージ
-Loadlin.exe	･･･Linux起動用DOSツール
-Ramdisk.gz	･･･X-Linux用RAMディスクイメージ
-Xlinux.bat	･･･X-Linux起動用DOSバッチファイル

③その他収録内容

-Fdos\	･･･FreeDOSコマンド、アセンブラ、コンパイラ、フリーソフト等
-Xlinux57\	･･･X-Linux5.7（OSイメージ）
-FreeDOS\fdfullws.iso	･･･FreeDOS1.0フル（OSイメージ）
-Driver\Winxp	･･･Windows XPドライバ
-Driver\Win2k	･･･Windows 2000ドライバ
-Driver\Linux	･･･Linuxドライバ
-Doc\	･･･各種マニュアル

10. FreeDOS

①CPU内蔵Flashからのブート
本製品は、CPUに内蔵Flashを搭載しており、1.44MB Floppyとしてエミュレーションしています。BIOS設定を変更することにより、内蔵ストレージとして使用できます。
製品出荷時では、FreeDOS1.0（機能限定）をインストール済みですので、電源を入れれば内蔵Flashからブートします。
ブートしない場合は、BIOSの設定値がカスタムデフォルトに設定されていることを確認してください（8-②を参照）。

内蔵Flashには以下の内容が収録されています。
-Autoexec.bat、Command.com、Fdconfig.sys、Kernel.sys
-Fdos\ ･･･FreeDOSコマンド
-Asm\ ･･･アセンブラ
-Bwbasic\ ･･･BASICインタプリタ

②USBメモリからのブート
付属のUSBメモリからもFreeDOSがブートします。
BIOSの設定値がカスタムデフォルトに設定されていることを確認した上で、さらに「Boot」の「1st」にて、接続したUSBメモリのデバイスを合わせます。
「Exit」にて「Save Changes and Exit」で設定を保存して再起動します。再起動後、USBメモリからFreeDOSがブートします。

※DOSのみCPU内蔵Flashを使用することができます。
WindowsやLinuxからは本領域にアクセスできません。
Flashストレージへの書込み回数には上限があり、頻繁にWriteを行なうと、エラーが発生する場合があります。

③OSについて
FreeDOSやフリーソフトの使用方法や詳細な情報は、FreeDOS公式WEBサイトをご覧ください。
URL： http://www.freedos.org/

11. X-Linux

①USBメモリからのブート
USBメモリに収録されているX-Linuxはブート可能です。
CPU内蔵FlashもしくはUSBメモリからFreeDOSが起動した状態で、コマンドプロンプトで次の操作を実行してください。
・Cドライブ（付属USBメモリ）のルートに移動します。
・xlinux.bat（Enterキー）

X-Linuxが起動します。ログインID/パスワードは次の通りです。
Login： root
Password： password

X-Linuxがカーネルパニックでブートしない場合は、BIOSの設定値がカスタムデフォルトに設定されていることを確認してください（8-②を参照）。

②OSについて
X-Linuxの使用方法や他のストレージにインストールする場合は、DM&Pの公式WEBサイトに情報が公開されていますので、そちらをご覧ください。
URL： http://www.dmp.com.tw/tech/os-xlinux/
同サイトで公開されているマニュアルをUSBメモリ内のDocフォルダにも収録しています。

12. サポート

①修理
ご購入後の修理等の対応はお買上げ販売店へお問合せください。
②サポートについて
当製品のサポートは以下URL内のFAQまたは専用フォームにてお受けいたします。電話でのお問合せは平日の13時〜17時です。
URL： http://www.pinon-pc.co.jp/pc TEL： 03-5719-9081

13. 保証規定

・保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。保証期間内で故障した場合、弊社所定の方法で修理しますので、保証書及び購入日が証明できるものを製品に添えてお買上げの販売店までお持ちください。
・次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
①保証書及び購入日を証明できるものをご提示いただけない場合
②所定の項目が記入されていない、あるいは字句を書き換えられた場合
③故障の原因が取扱上の不注意、お客様による輸送･移動中の衝撃による場合
④天変地異、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷
・お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合、保証期間内の修理でもお受けいたしかねます。
・本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
・本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
・本製品は、人命に関わる設備や機器への使用は意図されておりません。これらの用途に使用し、事故や障害等が生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
・修理依頼品を輸送、ご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
・保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
・保証書は日本国内においてのみ有効です。

14. Sizka Super-microDX補足説明

１）添付USBメモリーについて

①保証について

USBメモリーは保証の範囲に含まれていません。お客様が装置を速やかに動かすために、便宜上添付しています。FLASHメモリーの構造上、一部に欠陥ビットが存在する可能性があり、また何度か書き換えを行なうと、エラーが発生したり壊れる場合があります。動作確認後は、お客様ご自身で起動用のUSBメモリーを作成し、添付USBメモリーは大切に保管してください。

②USBからの起動について

添付USBメモリーにはFreeDOSがインストール済みです。本体のUSBポートに挿入して電源をONすると起動します。起動時がAドライブになる場合はBIOSセットアップメニューのBOOTから、BOOTオーダー1をUSBメモリーに変更してください。BIOSセットアップは「DEL」キーで入ることが出来ます。なお、CPU内蔵FLASHはSCSIとして認識されます。

③GAMESディレクトリについて

各種フリーゲームを収録済みです。一部DOS環境の設定を変更しないと動かないゲームもあります。また本PCにはオーディオ機能が無いため、ハングするGAMEもあるようです。

④マウスについて

DOSでGAMEを動かす場合、マウスが必要な場合があります。事前にDOSプロンプトでmouseコマンドを実行することにより、USBマウスがPS/2マウスとして認識されます。但し、HUB経由では認識されない場合もあります。HUB経由で動かない場合は直接本体に接続してください。

⑤X-Linuxの起動について

添付USBメモリーにはX-Linuxのイメージが収録されています。DOSプロンプトからxlinux.batを実行するとブートローダーが起動し、メモリー上へイメージを展開します。展開が終わると、メッセージを表示しながらX-Linuxが起動します。起動の最後にUSBメモリーがSCSIとして認識され、プロンプトで停止します。この状態で「Enter」キーを押すとLoginプロンプトが表示されます。“ID=root”、“PW=password”でログインします。X-Linuxはメモリー上に展開されているため、LogoffやShutdown処理をしなくても電源を0FFできます。

２）USBキーボードについて

稀に認識できないUSBキーボードがあるようです。なるべく販売時期が新しい製品をご使用ください。マウスについても同様です。

３）Windowsのインストールについて

WindowsをCFカードなどにインストールする場合は、Windowsの制限によりFIXED（固定）ディスクモードのストレージをご使用ください。モードについてはストレージデバイスの各メーカーにお問い合わせください。但し、UDMA7以上には未対応です。